

2011年度決算説明会



株式会社 ほくほくフィナンシャルグループ
Hokuhoku Financial Group, Inc.

2012年5月

目次

・決算概要Ⅰ－①＜P/L:連結・2行合算＞	1	・取引先支援・金融円滑化への対応	17
・決算概要Ⅰ－②＜P/L:各行＞	2	・預貸金利ざや①	18
・決算概要Ⅱ－①＜B/S:連結・2行合算＞	3	・預貸金利ざや②	19
・決算概要Ⅱ－②＜B/S:各行＞	4	・投資型金融商品	20
・トップラインの増減要因① ～資金利益	5	・有価証券残高・評価損益	21
・トップラインの増減要因② ～非金利収入	6	・ポートフォリオ(円貨債券)	22
・トップラインの増減要因③ ～経費	7	・営業力の強化 ～ 法人戦略	23
・有価証券関係損益	8	・営業力の強化 ～ ビジネスマッチング	24
・与信費用・不良債権	9	・営業力の強化 ～ 海外ネットワーク	25
・自己資本の状況	10	・営業力の強化 ～ 海外進出支援	26
・繰延税金資産	11	・営業力の強化 ～ 個人戦略	27
・業績予想	12	・営業力の強化 ～ 店舗戦略・人材育成	28
・預金	13	・経営の効率化 ～ 経費削減への取組	29
・貸出金	14	・経営基盤の安定化 ～ 金融円滑化出口支援	30
・信用保証協会保証付貸出	15	・経営基盤の安定化 ～ 資本政策	31
・住宅ローン	16	・地域社会とともに	32

分割子会社北銀コーポレートは再生支援専門会社として設立されましたが、当初の設立目的終了から平成21年9月に清算終了いたしました。一部過年度計数には分割子会社計数を加算し表示しています。

決算概要 I ー①<P/L:連結・2行合算>

[業績予想]

<ほくほくFG連結> (億円)		12/3期	増減	11/3期
経常収益	[2,030]	2,079	▲66	2,146
経常利益	[310]	388	+16	372
当期純利益	[170]	141	▲42	184

<2行合算> (億円)

コア業務粗利益	[1,570]	1,563	+9	1,554
資金利益		1,311	+4	1,307
うち国内部門		1,305	▲1	1,306
役務取引等利益		189	▲19	208
特定取引利益		5	▲6	11
その他業務利益(除く5勘定戻)		▲4 57	+30	▲14 26
経費(臨時処理分を除く)(▲)	[1,010]	1,006	+20	986
コア業務純益	[560]	557	▲10	567
国債等債券損益		+9 36	+19	+17 17
業務純益(一般貸倒引当金繰入前)		593	+8	584
臨時損益		▲220	▲32	▲188
与信費用(▲)	[200]	104	▲41	145
株式等損益		▲50	▲22	▲27
経常利益	[330]	405	+35	370
特別損益		▲26	▲7	▲19
法人税等(▲)		212	+58	154
当期純利益	[195]	166	▲29	196

下線付数字:それぞれに含まれる債券のオプション取引損益

<ほくほくFG連結>

当期純利益 141億円 (11/3比▲42億円)

・・・税制改正に伴う法人税等調整額の増加(影響額50億円)

<2行合算>

コア業務純益557億円 (11/3比▲10億円)

・・・役務収益の減少、経費増加

経常利益 405億円 (11/3比+35億円)

・・・与信費用の減少

当期純利益 166億円 (11/3比▲29億円)

・・・固定資産の減損処理、退職給付信託設定損を計上
税制改正に伴う法人税等調整額の増加(影響額51億円)

連単差の内訳

(億円)	12/3期	増減	11/3期
差額 A-B	▲25	▲12	▲12
子会社利益	8	▲5	14
のれん償却	▲21	+3	▲24
有価証券損益調整	▲2	▲1	▲0

決算概要 I ー②<P/L:各行>

(億円)	〈北陸銀行〉			〈北海道銀行〉		
	12/3期	増減	11/3期	12/3期	増減	11/3期
コア業務粗利益	885	▲0	885	678	+10	668
資金利益	735	+5	730	576	▲0	576
うち国内部門	732	+0	732	572	▲1	573
役務取引等利益	116	▲12	128	72	▲7	79
特定取引利益	5	▲6	11	－	－	－
その他業務利益(国債等債券損益を除く)	27	+12	14	→ ▲4 30	+17	→ ▲14 12
経費(臨時処理分を除く)(▲)	542	+3	538	464	+16	447
コア業務純益	343	▲3	346	214	▲6	221
国債等債券損益	1	+8	▲6	→ +9 34	+11	→ +17 23
業務純益(一般貸倒引当金繰入前)	344	+4	340	248	+4	244
臨時損益	▲89	+19	▲109	▲131	▲51	▲79
与信費用(▲)	44	▲26	71	59	▲14	74
株式等損益	▲13	+9	▲22	▲37	▲31	▲5
経常利益	274	+45	229	131	▲10	141
特別損益	▲24	▲7	▲17	▲1	+0	▲2
法人税等(▲)	136	+43	92	76	+15	61
当期純利益	114	▲5	119	52	▲24	77

下線付数字:それぞれに含まれる債券のオプション取引損益

決算概要Ⅱ ー①<B/S:連結・2行合算>

〈2行合算〉(億円)	12/3末	増減	11/3末
貸出金	72,870	+458	72,411
うち中小企業等	47,650	▲613	48,263
うち個人ローン	20,205	+272	19,933
有価証券	24,718	+1,566	23,151
預金(含む 譲渡性預金)	97,008	+1,770	95,238
うち個人預金	67,722	+1,612	66,109
個人預かり資産	73,889	+793	73,096
預金(円貨)	67,428	+1,597	65,831
投資型金融商品	6,460	▲803	7,264
外貨預金	293	+15	278
公共債	2,568	▲189	2,758
投資信託	3,598	▲629	4,228
金融再生法開示債権	2,368	+162	2,205
金融再生法開示債権比率	3.17%	+0.21%	2.96%
〈ほくほくFG連結〉(億円)			
自己資本比率	11.72%	+0.43%	11.29%
Tier1比率	7.82%	+0.37%	7.45%
繰延税金資産(ネット)対Tier1比率	10.93%	▲6.21%	17.14%
その他有価証券の評価差額	395	+222	173

〈2行合算〉

貸出金 11/3比 + 458億円

・・・地公体向け・住宅系ローンの増加

有価証券 11/3比 + 1,566億円

・・・国債を中心に増加

預金 11/3比 + 1,770億円

・・・個人預金中心に増加

個人預かり資産 11/3比 + 793億円

・・・個人預金が伸長

開示債権 11/3比 + 162億円

開示債権比率 11/3比 + 0.21 %

〈ほくほくFG連結〉

自己資本比率 11.72%

有価証券の評価差額 +395億円

決算概要Ⅱ－②＜B/S:各行＞

(億円)	＜北陸銀行＞			＜北海道銀行＞		
	12/3末	増減	11/3末	12/3末	増減	11/3末
貸出金	42,339	▲183	42,523	30,530	+642	29,888
うち中小企業等	28,265	▲447	28,713	19,384	▲165	19,550
うち個人ローン	10,625	+200	10,425	9,579	+71	9,508
有価証券	13,154	+979	12,175	11,564	+587	10,976
預金(含む 譲渡性預金)	55,451	+1,051	54,399	41,557	+718	40,839
うち個人預金	36,872	+739	36,132	30,849	+872	29,976
個人預かり資産	40,819	+188	40,630	33,070	+604	32,465
預金(円貨)	36,653	+722	35,930	30,775	+874	29,900
投資型金融商品	4,165	▲534	4,700	2,295	▲269	2,564
外貨預金	219	+17	202	74	▲1	75
公共債	1,682	▲164	1,847	886	▲24	911
投資信託	2,264	▲386	2,650	1,334	▲243	1,577
金融再生法開示債権	1,535	+92	1,443	833	+70	763
金融再生法開示債権比率	3.53%	+0.25%	3.28%	2.66%	+0.17%	2.49%
自己資本比率	11.85%	+0.53%	11.32%	10.80%	+0.21%	10.59%
Tier1比率	7.77%	+0.56%	7.21%	7.17%	+0.12%	7.05%
繰延税金資産(ネット)対Tier1比率	11.44%	▲9.05%	20.49%	12.08%	▲2.65%	14.73%
その他有価証券の評価差額	304	+129	175	160	+87	73

トップラインの増減要因① ～資金利益

- 競争激化の進行で利回りは低下・国債中心に有価証券積み上げ
⇒ 減収分を有価証券利息で一部カバーするも、2行合算の資金利益は前年を下回る

【資金利益(国内部門)の増減要因】

(億円、%)	11/3期			12/3期			増減			要因分析	
	平残	利回	利息	平残	利回	利息	平残	利回	利息	平残	利回
＜2行合算＞											
資金利益			1,306			1,305			▲1		
貸出金	69,834	1.75%	1,223	71,410	1.64%	1,173	1,576	▲0.11%	▲50	26	▲76
有価証券	21,369	1.04%	222	23,524	1.02%	240	2,154	▲0.02%	18	22	▲4
預金・NCD	92,172	0.14%	132	95,141	0.10%	96	2,969	▲0.04%	▲35	3	▲39
＜北陸銀行＞											
資金利益			732			732			0		
貸出金	40,969	1.68%	690	41,552	1.57%	655	583	▲0.11%	▲35	9	▲45
有価証券	10,630	1.13%	120	12,221	1.12%	137	1,590	▲0.01%	16	18	▲1
預金・NCD	52,836	0.15%	81	54,220	0.10%	57	1,383	▲0.05%	▲23	1	▲25
＜北海道銀行＞											
資金利益			573			572			▲1		
貸出金	28,864	1.84%	533	29,857	1.73%	518	992	▲0.11%	▲14	17	▲32
有価証券	10,738	0.94%	101	11,302	0.91%	103	563	▲0.03%	1	5	▲3
預金・NCD	39,335	0.12%	50	40,921	0.09%	38	1,585	▲0.03%	▲12	1	▲13

【13/3期計画】 (国内部門)

2行合算		
	平残	利回り
貸出金	+920	▲0.08
有価証券	+380	▲0.08
預金・NCD	+1,200	▲0.02
北陸銀行		
	平残	利回り
貸出金	+320	▲0.06
有価証券	+380	▲0.05
預金・NCD	+470	▲0.03
北海道銀行		
	平残	利回り
貸出金	+600	▲0.11
有価証券	0	▲0.13
預金・NCD	+730	▲0.02

トップラインの増減要因② ～非金利収入

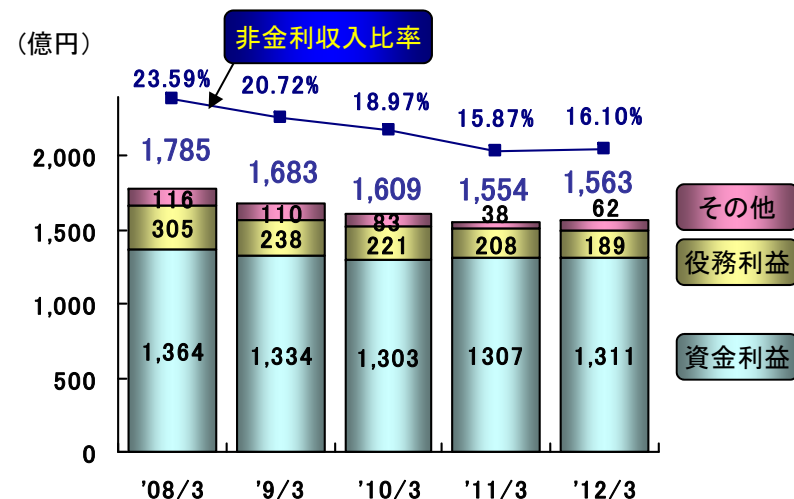
- 投信・保険販売手数料の減少
- 金融派生商品収益は増加

【非金利収入の増減要因】

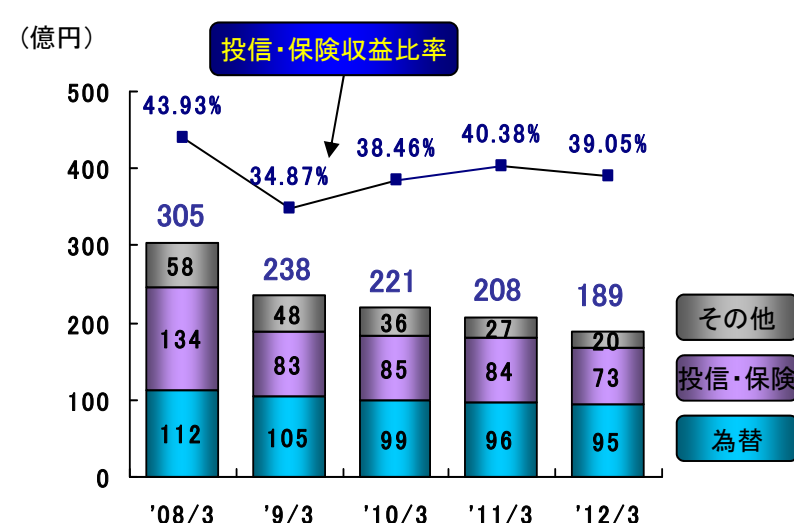
〈2行合算〉(億円)	12/3期	増減	11/3期
(1) 役務取引等利益	189	▲19	208
役務取引等収益	336	▲13	349
うち受入為替手数料	114	▲1	116
うち投資信託手数料	40	▲7	47
うち保険手数料	33	▲3	36
役務取引等費用	147	+5	141
うち支払為替手数料	19	▲0	19
うちコンビニATM手数料	26	+2	23
うちローン保険料・保証料	94	+1	92
(2) 特定取引利益	5	▲6	11
(3) その他業務利益(除く5勘定戻)	57	+30	26
うち外為売買損益(ネット)	15	▲0	16
うち金融派生商品収益	▲4 41	+31 ▲14	9
(4) 非金利収入計 (1)+(2)+(3)	251	+5	246
(5) コア業務粗利益	1,563	+9	1,554
(6) 非金利収入比率 (4)/(5)	16.10%	+0.23%	15.87%

下線付数字: それぞれに含まれる債券のオプション取引損益

【コア業務粗利益】〈2行合算〉



【役務取引等利益】〈2行合算〉



トップラインの増減要因③ ～経費

➤ 人員増加、システム投資等により経費は増加

【経費の増減要因】

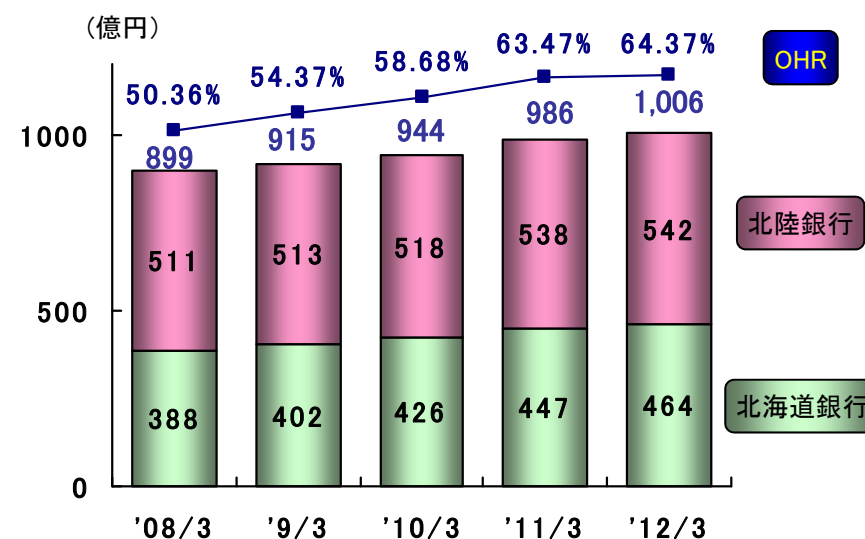
〈2行合算〉(億円)	12/3期	増減	11/3期
経費	1,006	+20	986
人件費	452	+4	447
物件費	499	+13	486
税金	54	+2	52
OHR	64.37%	+0.90%	63.47%
従業員数(A)	5,140	+200	4,940
スタッフ数(B)	3,227	▲264	3,491
スタッフ比率(B)/{(A)+(B)}	38.56%	▲2.84%	41.40%

※OHR=(経費/コア業務粗利益)

※従業員数は嘱託、パート、派遣社員を除く正行員

※スタッフ数(B)=嘱託行員+契約社員+臨時雇+派遣・直接雇用パート

【経費・OHRの推移】〈2行合算〉



人件費 11/3比+4億円
・・・人員増加

物件費 11/3比+13億円
・・・システム投資の増加

有価証券関係損益

- 国債等関係損益 **36億円 (11/3期比 +19億円)**
- 株式等損益 **▲50億円 (11/3期比 ▲22億円)**

【有価証券関係損益】

〈2行合算〉

〈北陸銀行〉

〈北海道銀行〉

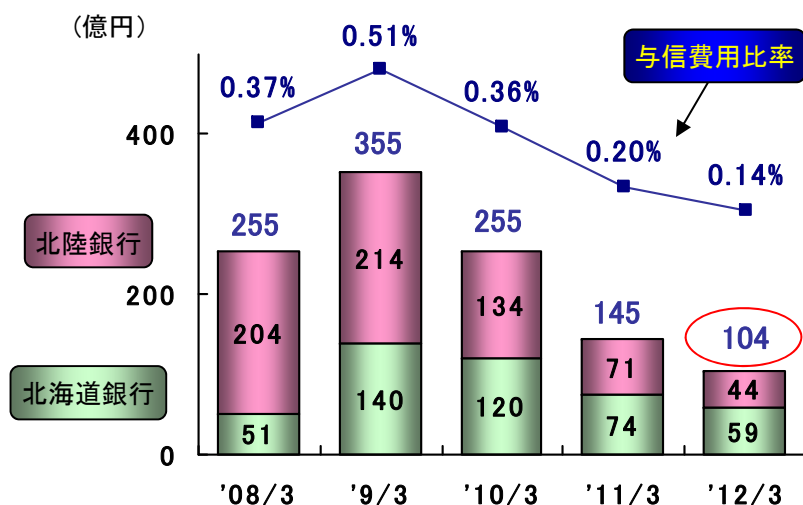
(億円)	12/3期	増減	11/3期	12/3期	増減	11/3期	12/3期	増減	11/3期
国債等債券損益	36	+19	17	1	+8	▲6	34	+11	23
売却益	53	+1	52	1	+1	0	51	+0	51
償還益	—	▲0	0	—	—	—	—	▲1	1
売却損	10	▲21	31	—	▲6	6	10	▲15	25
償還損	6	+6	—	—	—	—	6	+6	—
償却	0	▲2	3	—	—	—	0	▲2	3
株式等損益	▲50	▲22	▲27	▲13	+9	▲22	▲37	▲31	▲5
売却益	2	▲3	5	0	▲4	5	1	+0	0
売却損	4	+0	4	2	▲0	3	1	+1	0
償却	47	+19	28	10	▲12	23	36	+31	5

減損処理	要注意先以下	時価が取得原価に比べ下落
	正常先	時価が取得原価の50%以上下落、又は、時価が取得原価の30%超50%未満下落かつ市場価格が一定水準以下で推移等

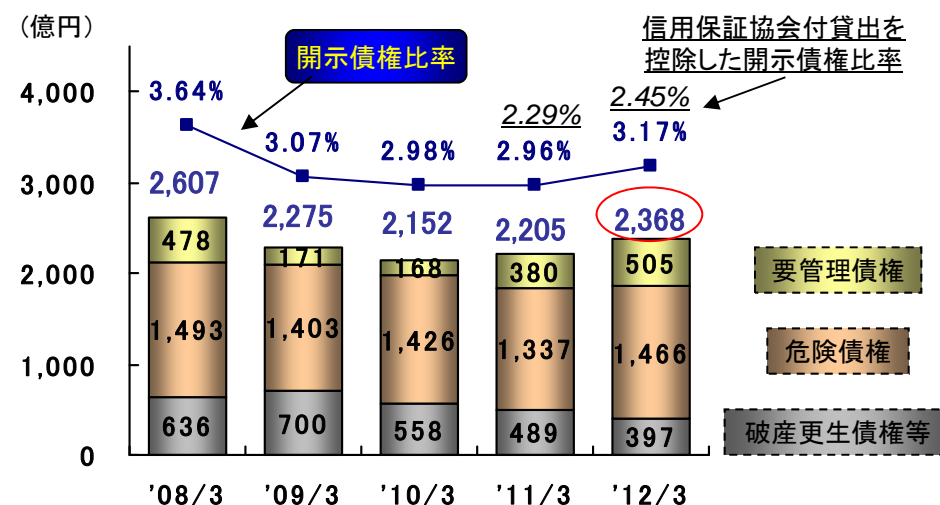
与信費用・不良債権

- 与信費用 104億円 (11/3比▲41億円) 、同比率0.14% (11/3比▲0.06%)
- 開示債権比率 3.17% (11/3比 +0.21%)

【与信費用】〈2行合算〉



【金融再生法開示債権】〈2行合算(+分割子会社)〉



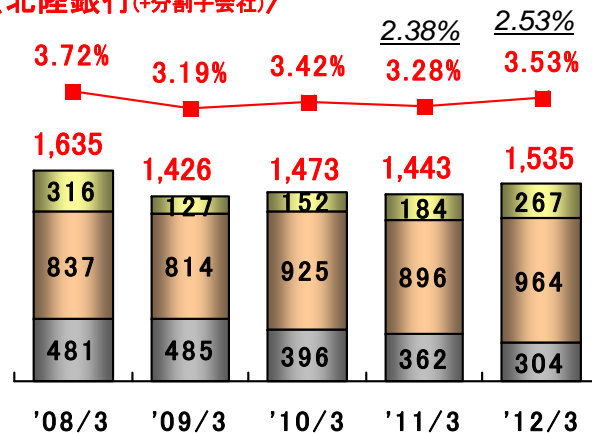
与信費用

=不良債権処理額+一般貸倒引当金繰入

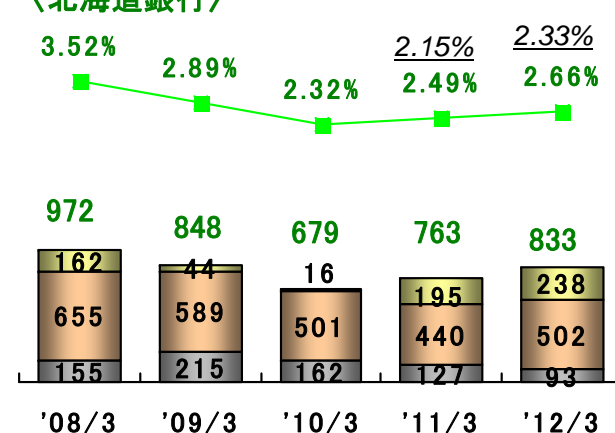
与信費用比率

=与信費用÷貸出金平均残高

〈北陸銀行(+分割子会社)〉



〈北海道銀行〉



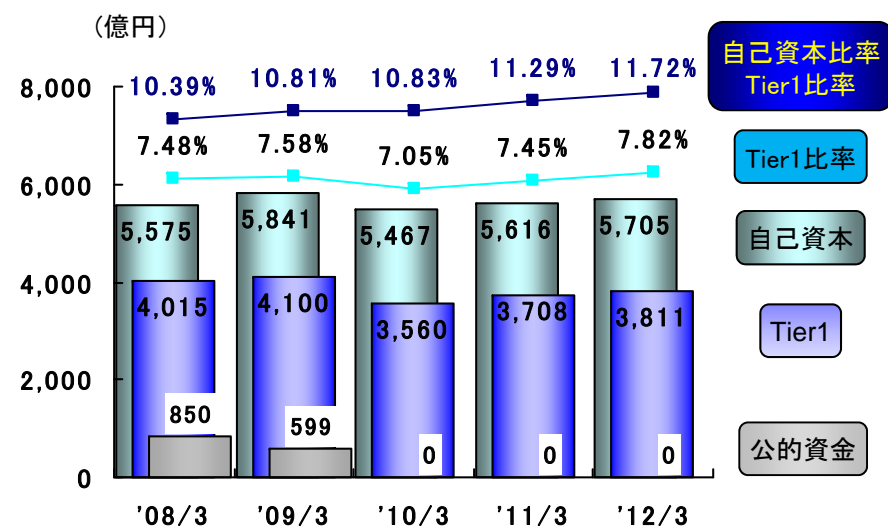
自己資本の状況

自己資本比率は11.72%（11/3比+0.43%）

【自己資本比率】

〈ほくほくFG連結〉（億円）	12/3末	増減	11/3末
自己資本比率	11.72%	+0.43%	11.29%
Tier1比率	7.82%	+0.37%	7.45%
Tier1	3,811	+102	3,708
うち優先株式(民間)	537	—	537
Tier2	1,905	▲14	1,919
自己資本合計	5,705	+89	5,616
リスクアセット	48,681	▲1,040	49,721
信用リスク	45,671	▲948	46,620
オペレーショナルリスク	3,009	▲91	3,101

【自己資本比率・公的資金残高等の推移】



〈北陸銀行(単体)〉

（億円）	12/3末	増減	11/3末
自己資本比率	11.85%	+0.53%	11.32%
Tier1比率	7.77%	+0.56%	7.21%
Tier1	2,126	+79	2,046
Tier2	1,115	▲50	1,166
自己資本合計	3,241	+28	3,212
リスクアセット	27,350	▲1,013	28,364

〈北海道銀行(単体)〉

	12/3末	増減	11/3末
自己資本比率	10.80%	+0.21%	10.59%
Tier1比率	7.17%	+0.12%	7.05%
Tier1	1,508	+22	1,485
Tier2	764	+16	747
自己資本合計	2,272	+39	2,232
リスクアセット	21,036	▲35	21,071

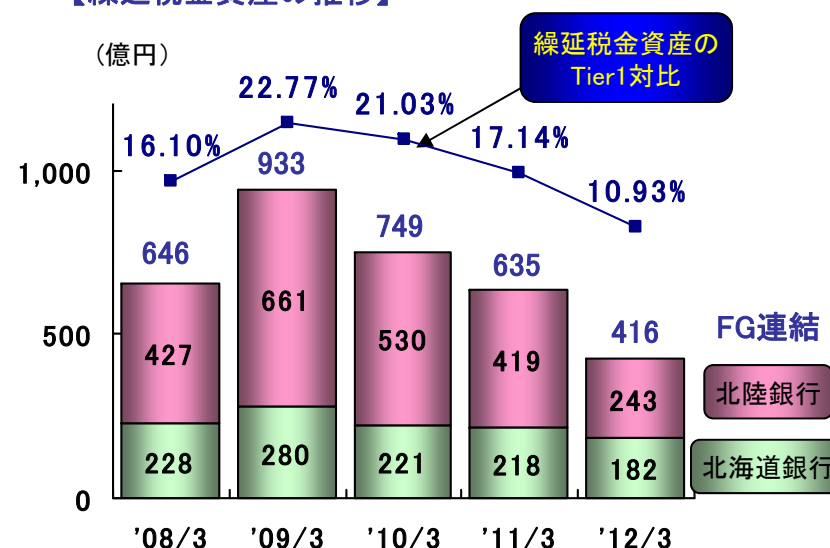
繰延税金資産

- 繰延税金資産 416億円 (11/3比▲219億円)
- Tier1対比 10.93% (11/3比▲6.21%)

【繰延税金資産の発生の内訳】

〈ほくほくFG連結〉(億円)	12/3末	増減	11/3末
貸倒引当金損金算入限度超過額	574	▲70	644
減価償却損金算入限度超過額	14	▲4	18
退職給付引当金	159	▲14	174
有価証券評価損否認額	136	▲8	145
その他	53	▲10	64
繰越欠損金	117	▲88	206
(1) 繰延税金資産小計	1,055	▲198	1,253
(2) 評価性引当額	397	▲35	433
(3) 繰延税金資産合計 (1)-(2)	658	▲162	820
(4) 繰延税金負債合計	241	+56	185
(5) 繰延税金資産の純額 (3)-(4)	416	▲219	635

【繰延税金資産の推移】



(億円)

(1) 繰延税金資産小計	726	▲183	909
(2) 評価性引当額	336	▲38	374
(3) 繰延税金資産合計 (1)-(2)	389	▲144	534
(4) 繰延税金負債合計	146	+31	114
(5) 繰延税金資産の純額 (3)-(4)	243	▲176	419

〈北陸銀行〉

	12/3末	増減	11/3末
(1) 繰延税金資産小計	726	▲183	909
(2) 評価性引当額	336	▲38	374
(3) 繰延税金資産合計 (1)-(2)	389	▲144	534
(4) 繰延税金負債合計	146	+31	114
(5) 繰延税金資産の純額 (3)-(4)	243	▲176	419

〈北海道銀行〉

	12/3末	増減	11/3末
(1) 繰延税金資産小計	287	▲9	296
(2) 評価性引当額	33	+4	29
(3) 繰延税金資産合計 (1)-(2)	253	▲14	267
(4) 繰延税金負債合計	70	+22	48
(5) 繰延税金資産の純額 (3)-(4)	182	▲36	218

業績予想

【13/3期 業績予想】

〈ほくほくFG連結〉

(億円)	中間期 予想	通期 予想	12/3期比
経常収益	980	1,940	▲139
経常利益	160	310	▲78
当期純利益	90	180	+38

【13/3期 配当予想】

〈ほくほくFG単体〉

	中間 予想	期末 予想	年間 予想	12/3期比
普 通 株 式	-	3円75銭	3円75銭	-
第5種優先株式	7円50銭	7円50銭	15円00銭	-

〈2行合算〉

(億円)	中間期 予想	通期 予想	12/3期比
経常収益	910	1,800	▲130
コア業務粗利益	745	1,485	▲78
経費	495	990	▲16
コア業務純益	250	495	▲62
与信費用	75	150	+45
経常利益	170	325	▲80
当期純利益	105	200	+33

〈北陸銀行(単体)〉

	中間期 予想	通期 予想	12/3期比
	500	1,000	▲54
	425	850	▲35
	265	530	▲12
	160	320	▲23
	40	80	+35
	105	210	▲64
	65	130	+15

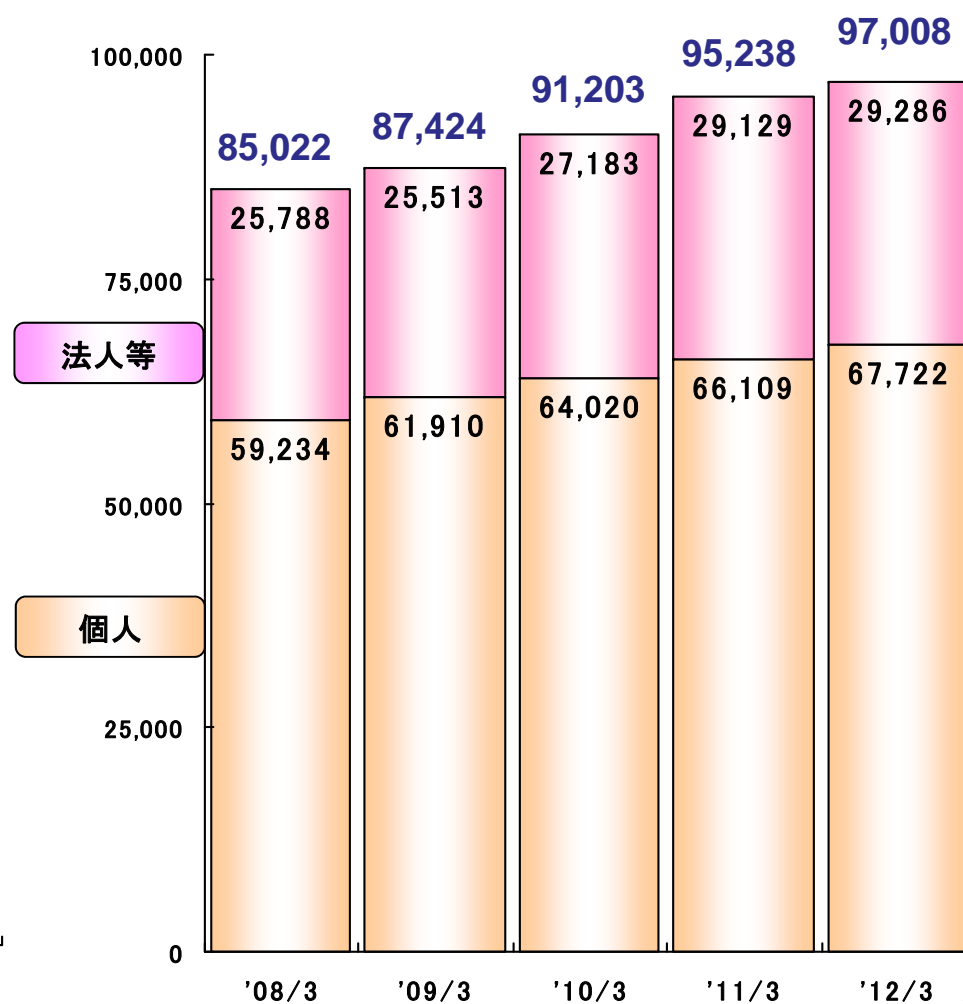
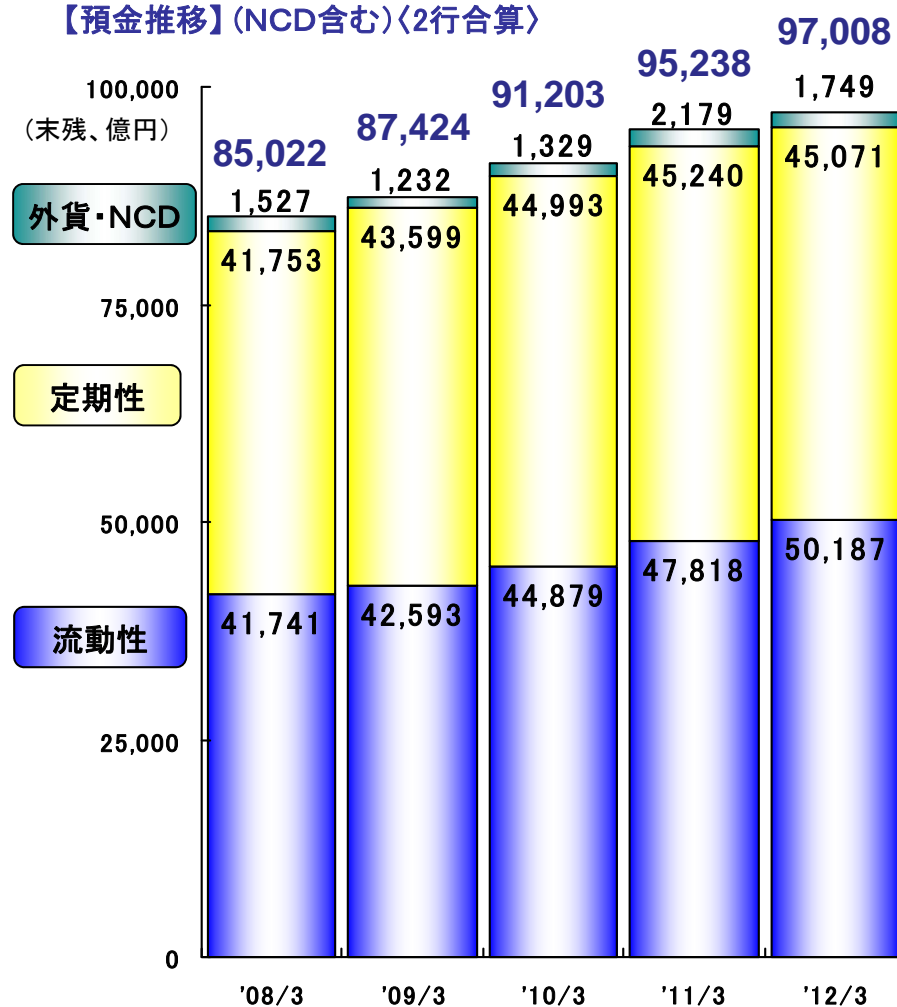
〈北海道銀行(単体)〉

	中間期 予想	通期 予想	12/3期比
	410	800	▲75
	320	635	▲43
	230	460	▲4
	90	175	▲39
	35	70	+10
	65	115	▲16
	40	70	+17

預金

- 預金 11/3比 +1,770億円(+1.85%)
- 流動性 11/3比 +2,369億円(+4.95%)
- 個人 11/3比 +1,612億円(+2.43%)

【預金推移】(NCD含む)〈2行合算〉

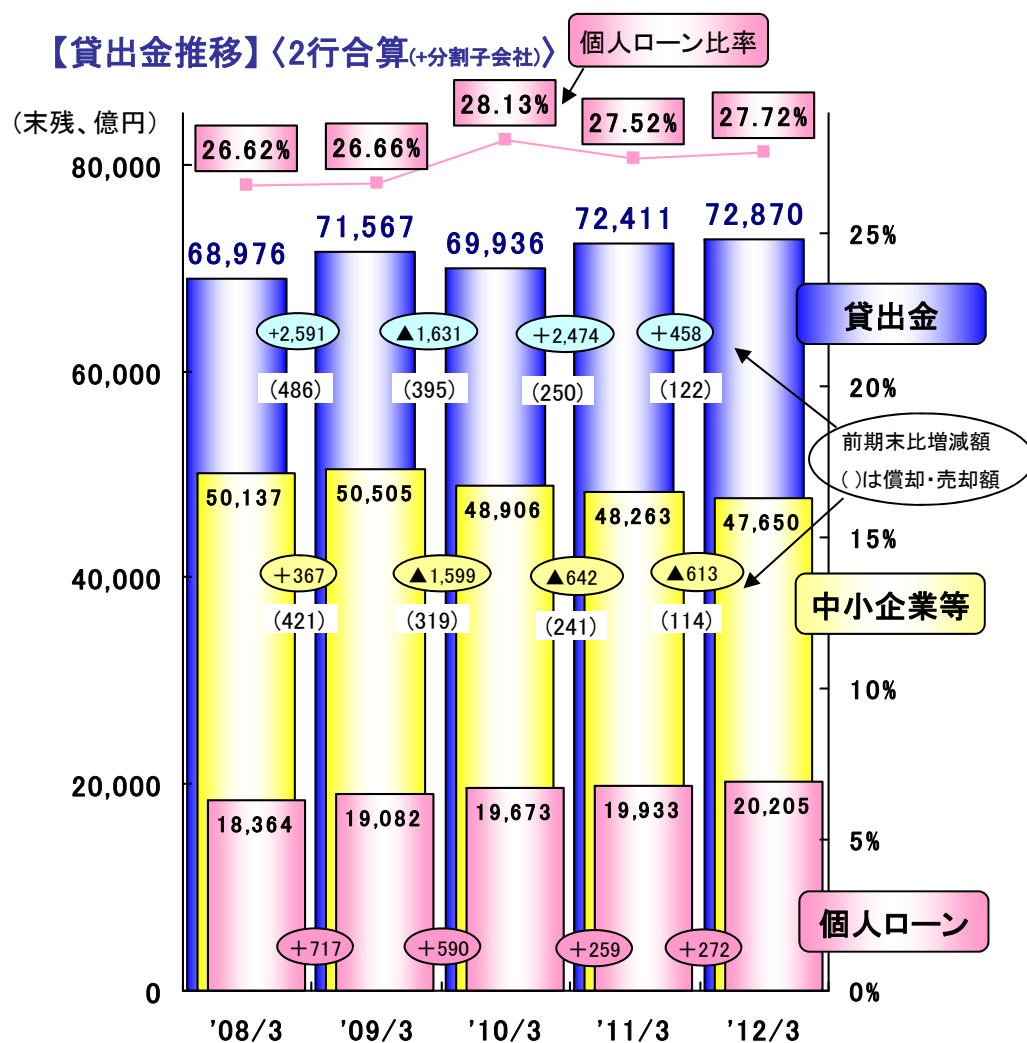


貸出金

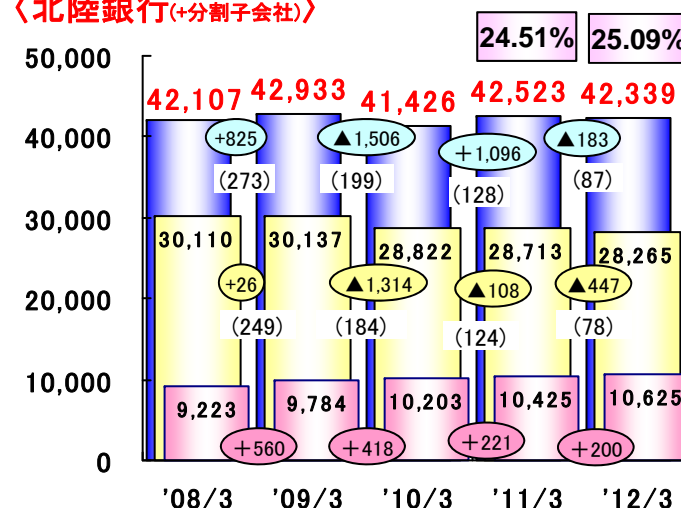
- 貸出金 11/3比 + 458億円(+0.63%)
- 中小企業等向け 11/3比 ▲613億円(▲1.27%)
- 個人ローン 11/3比 + 272億円(+1.36%)

※償却・売却要因 122億円
(うち中小企業向け114億円)

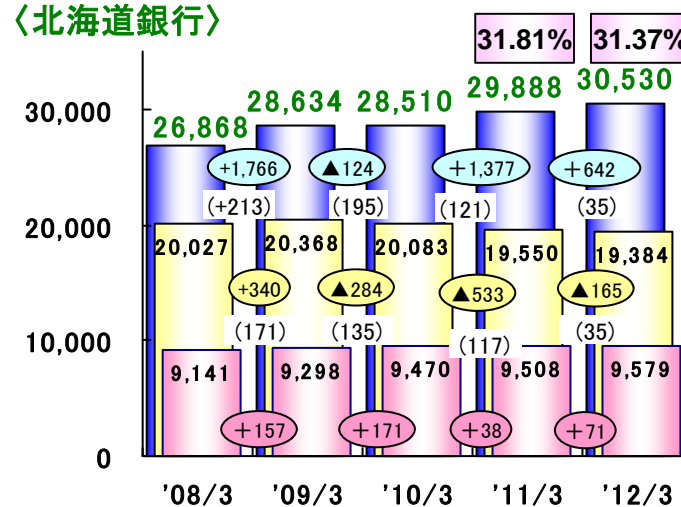
【貸出金推移】〈2行合算(+分割子会社)〉



〈北陸銀行(+分割子会社)〉



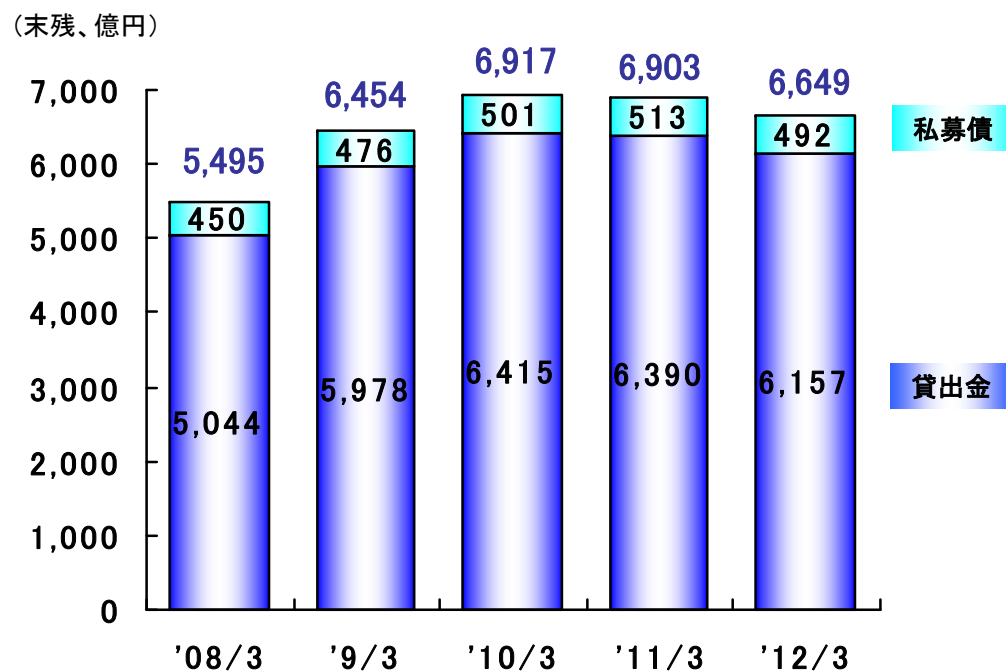
〈北海道銀行〉



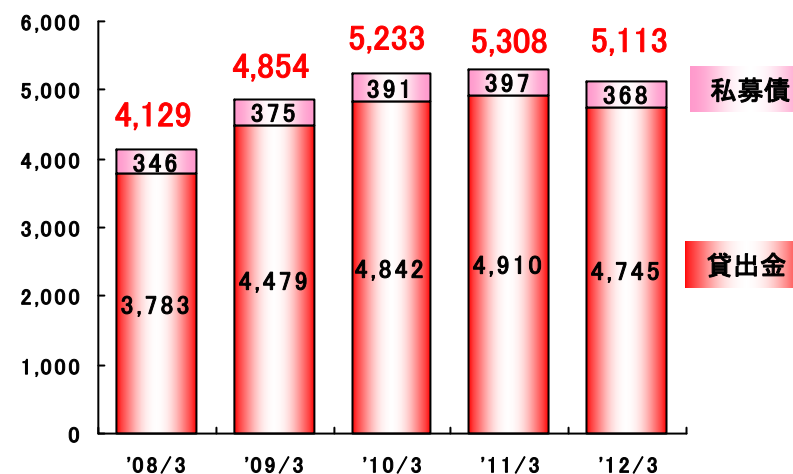
信用保証協会保証付貸出

➤ 信用保証協会保証付貸出金等残高 11/3比 ▲253億円(▲3.67%)

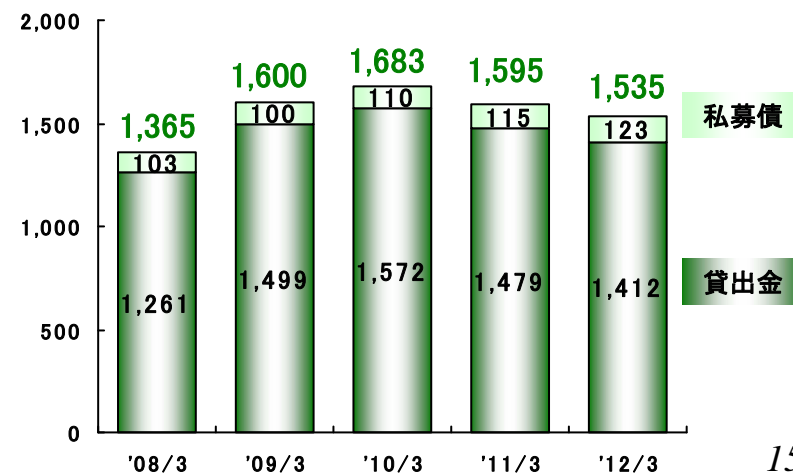
【マル保付貸出金等推移】〈2行合算+分割子会社〉



〈北陸銀行(+分割子会社)〉



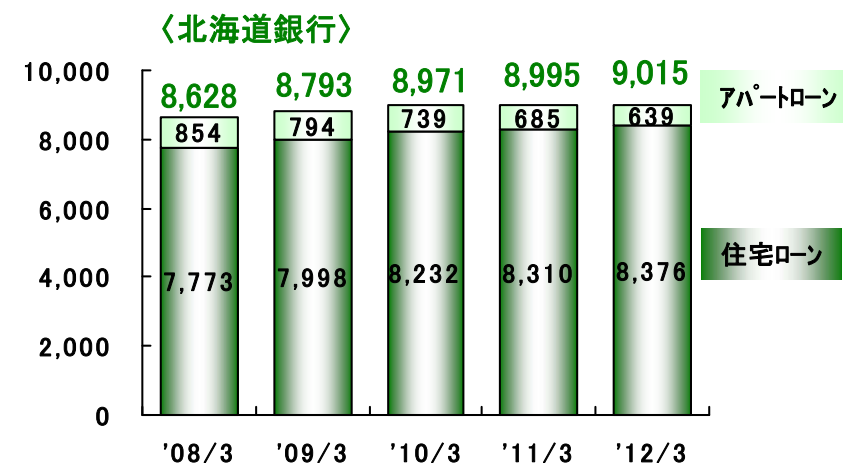
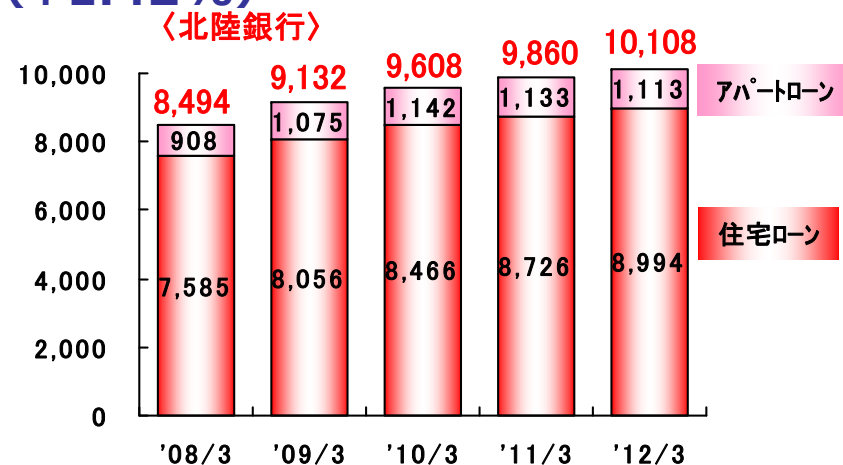
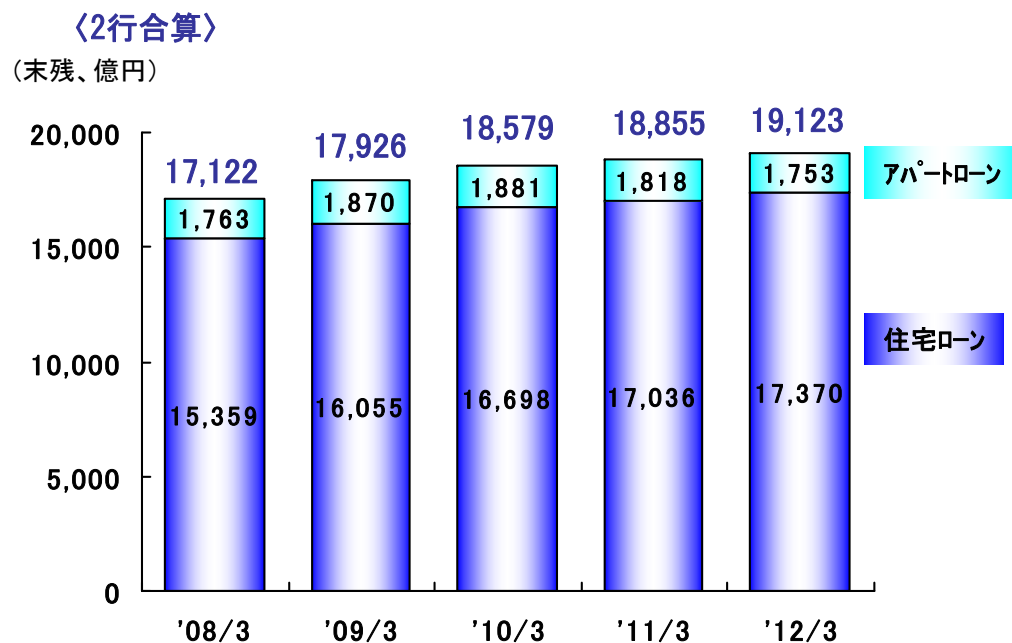
〈北海道銀行〉



住宅ローン

住宅系ローン残高は11/3期比+268億円 (+1.42%)

【住宅系ローン残高の推移】

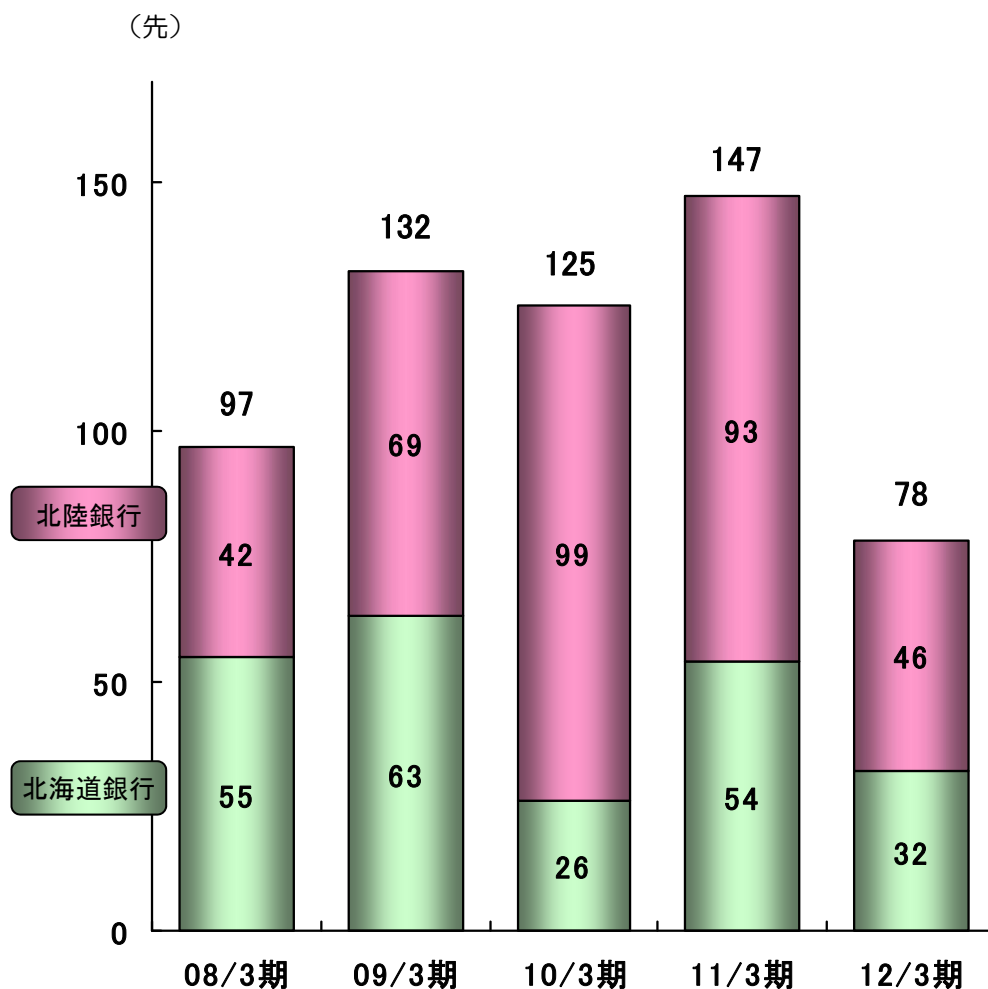


【住宅ローン実行額の推移】

(億円)	08/3期	09/3期	10/3期	11/3期	12/3期	08/3期	09/3期	10/3期	11/3期	12/3期	08/3期	09/3期	10/3期	11/3期	12/3期
住宅ローン実行額	2,275	2,186	2,095	1,894	1,880	1,135	1,108	1,047	961	998	1,139	1,077	1,048	932	881
うち新築	1,772	1,765	1,413	1,257	1,326	937	908	719	595	659	835	856	694	661	667
うち借換	502	421	682	637	553	198	200	327	366	339	304	220	354	270	214

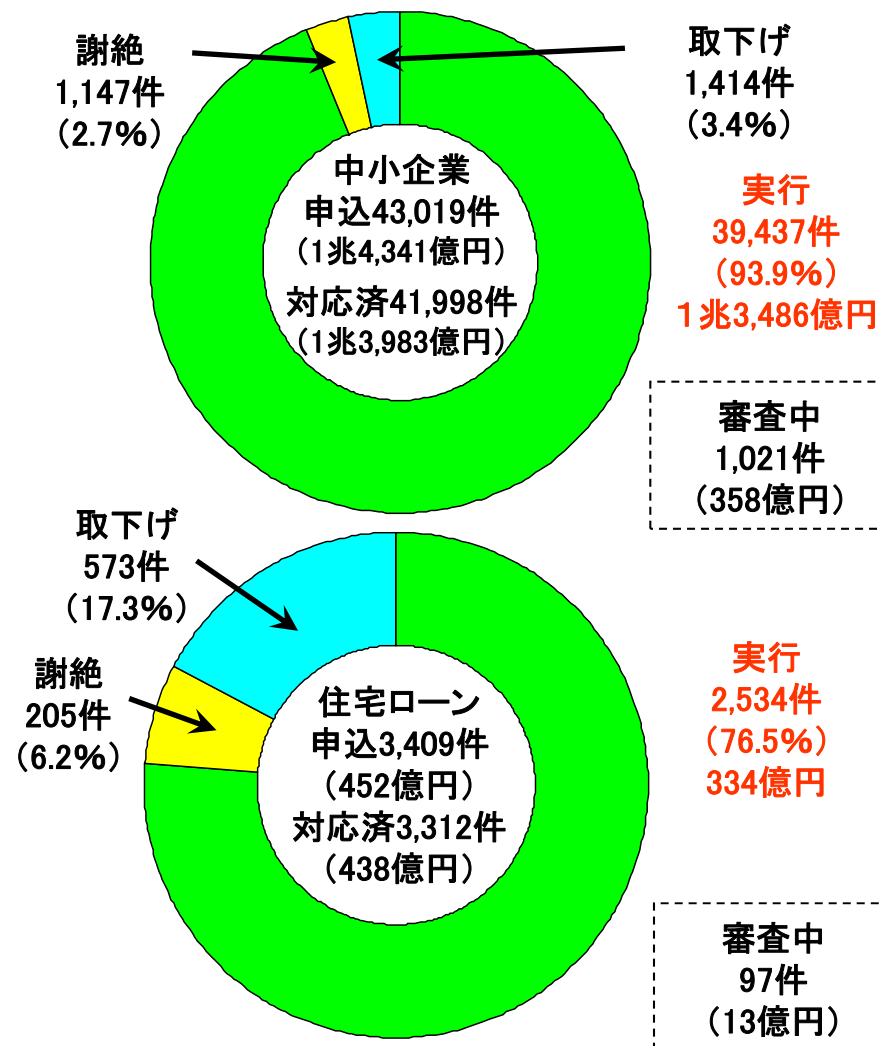
取引先支援・金融円滑化への対応

【経営改善支援の取組成果】



※経営改善支援により債務者区分がランクアップした先数

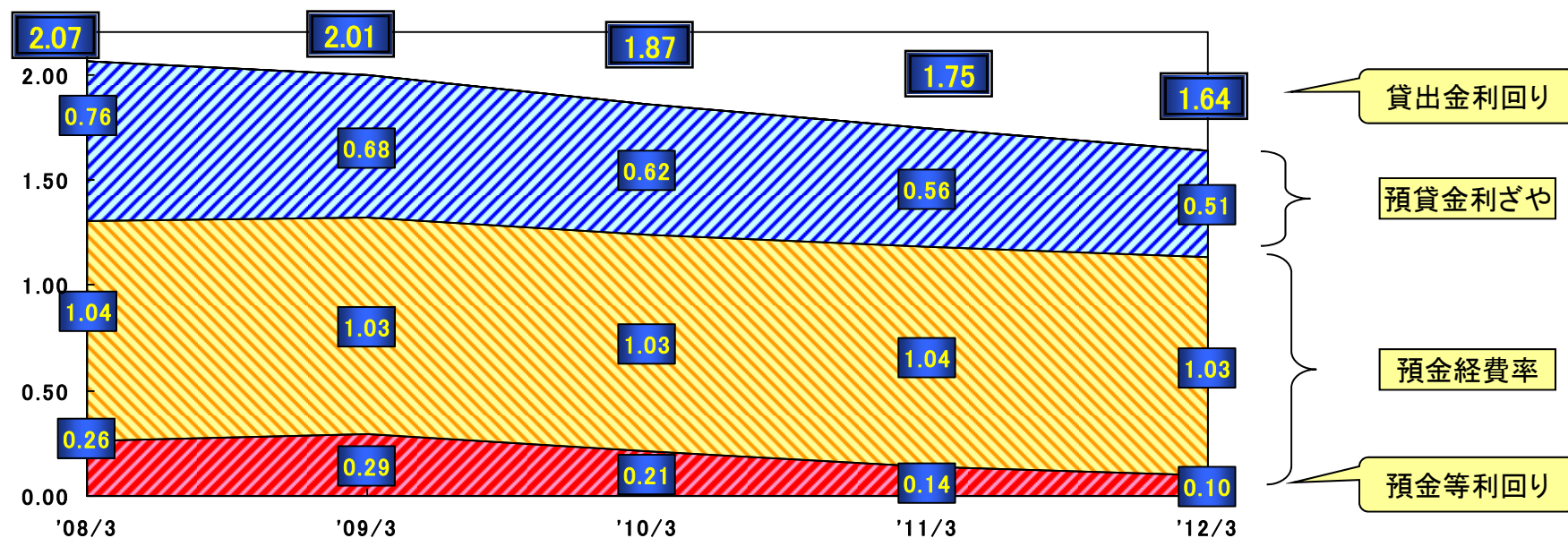
【金融円滑化対応実績】＜2行合算＞（2009年12月～2012年3月）



※「謝絶」には受付から3ヶ月超経過した先を含む

- 貸出金利回り 11/3比 ▲0.11%
- 預金等利回り 11/3比 ▲0.04%
- 預貸金利ざや 11/3比 ▲0.05%

【預貸金利ざや(国内業務部門)の推移】〈2行合算〉
(%)



〈2行合算〉

(%)	08/3期	09/3期	10/3期	11/3期	12/3期
貸出金利回り	2.07	2.01	1.87	1.75	1.64
預貸金利ざや	0.76	0.68	0.62	0.56	0.51
預金経費率	1.04	1.03	1.03	1.04	1.03
預金等利回り	0.26	0.29	0.21	0.14	0.10

〈北陸銀行〉

(%)	08/3期	09/3期	10/3期	11/3期	12/3期
貸出金利回り	2.00	1.93	1.80	1.68	1.57
預貸金利ざや	0.70	0.62	0.59	0.54	0.50
預金経費率	1.01	1.00	0.98	0.99	0.97
預金等利回り	0.27	0.30	0.22	0.15	0.10

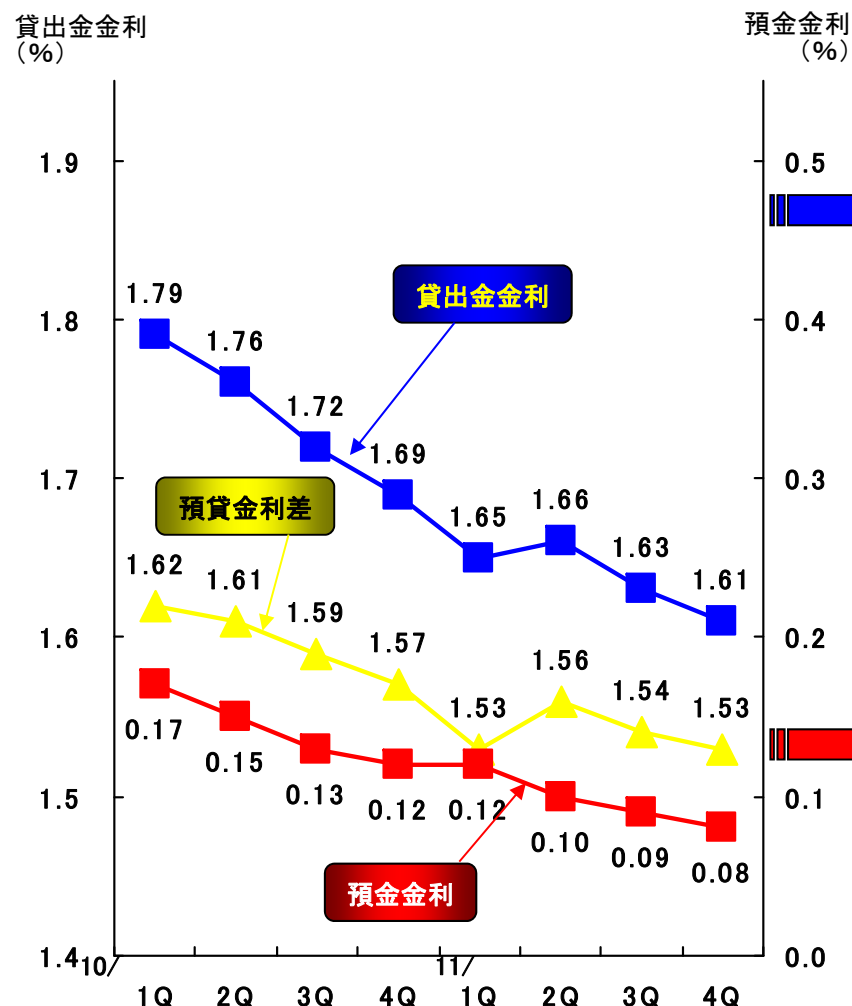
〈北海道銀行〉

(%)	08/3期	09/3期	10/3期	11/3期	12/3期
貸出金利回り	2.17	2.14	1.98	1.84	1.73
預貸金利ざや	0.85	0.78	0.68	0.60	0.52
預金経費率	1.06	1.08	1.10	1.11	1.11
預金等利回り	0.25	0.27	0.19	0.12	0.09

預貸金利ざや②

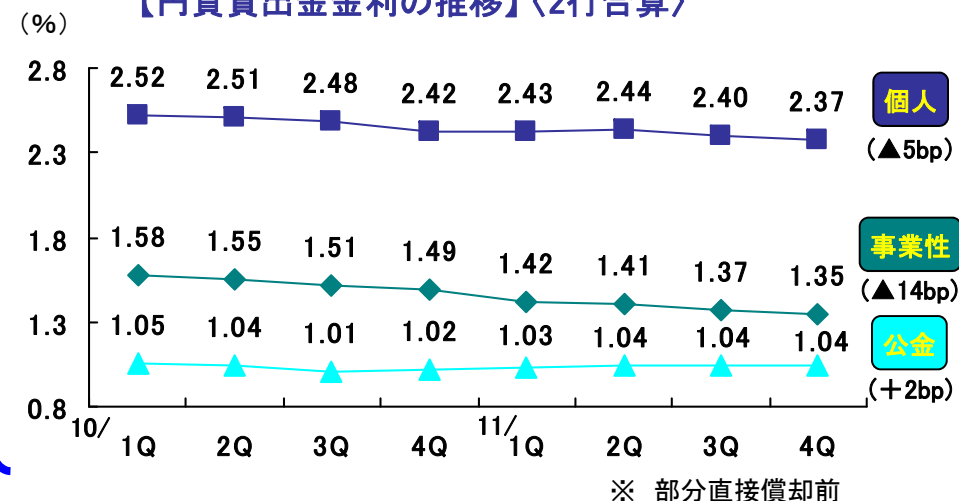
- 11/4Q 貸出金利 1.61%(10/4Q比▲0.08%)
- 11/4Q 預金金利 0.08%(10/4Q比▲0.04%)

【円貨預貸金金利の推移】〈2行合算〉

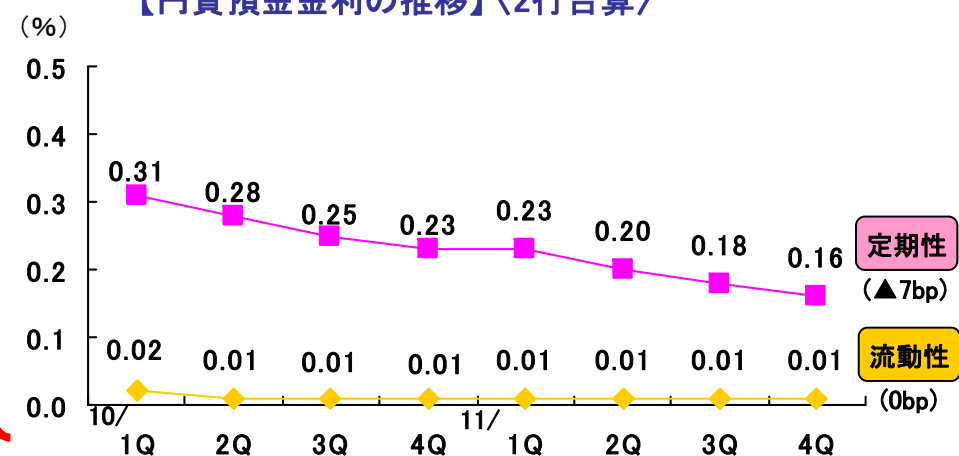


※ 内部管理ベース(約定金利ベース)

【円貨貸出金利の推移】〈2行合算〉



【円貨預金金利の推移】〈2行合算〉



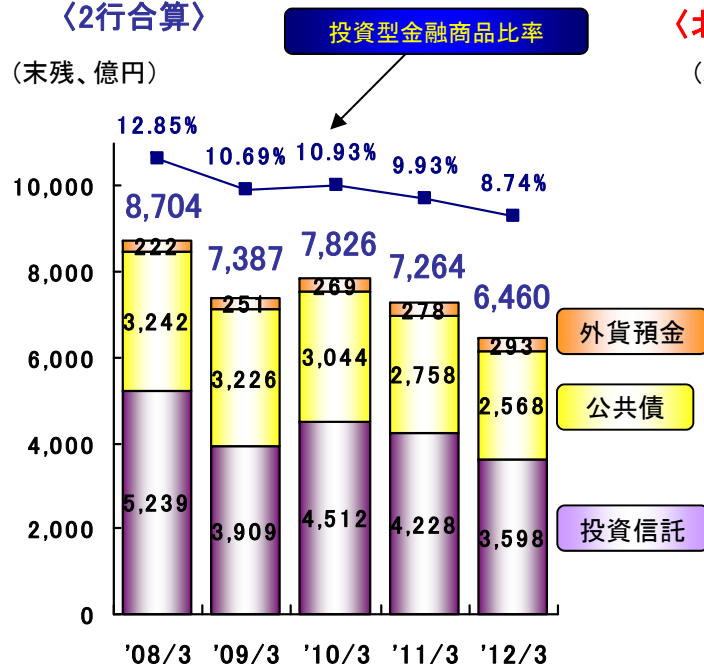
※ ()内は10/4Qとの比較

投資型金融商品

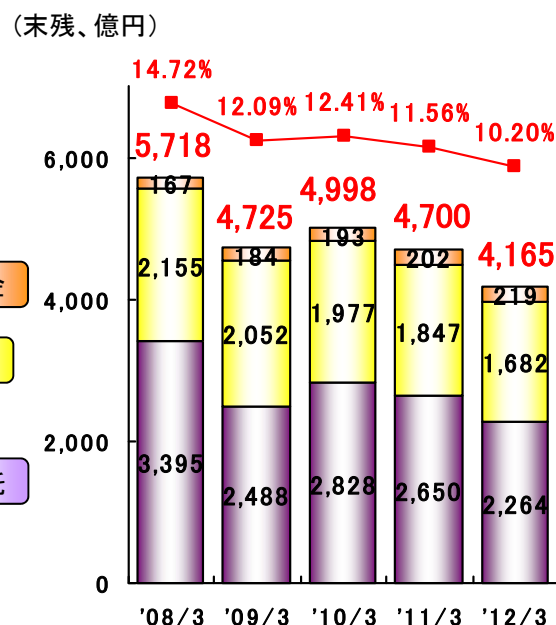
➤ 投信・生命保険ともに販売額は減少

【投資型金融商品の推移】

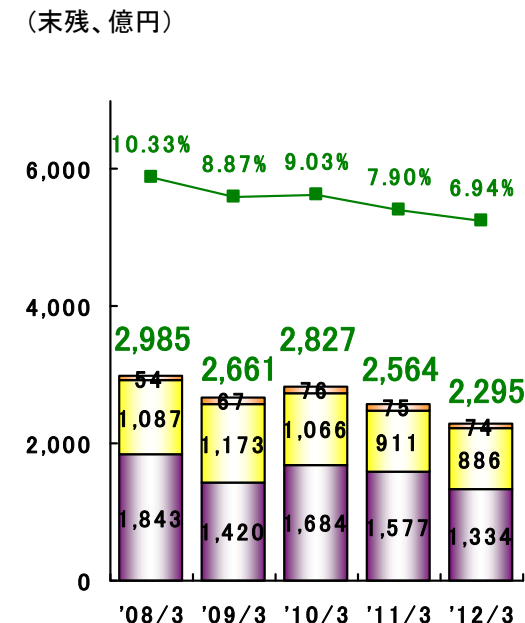
〈2行合算〉



〈北陸銀行〉



〈北海道銀行〉



【投資型金融商品販売額、手数料の推移】

〈2行合算〉

(億円)	09/3期	10/3期	11/3期	12/3期
投資信託販売額	842	1,383	1,213	987
生命保険販売額	829	944	1,168	1,083
投資信託手数料	43	53	47	40
保険手数料	39	32	36	33

〈北陸銀行〉

	09/3期	10/3期	11/3期	12/3期
投資信託販売額	440	1,046	894	689
生命保険販売額	555	514	747	662
投資信託手数料	27	37	32	26
保険手数料	29	21	25	22

〈北海道銀行〉

	09/3期	10/3期	11/3期	12/3期
投資信託販売額	401	337	318	297
生命保険販売額	273	429	420	420
投資信託手数料	16	15	15	13
保険手数料	10	11	10	10

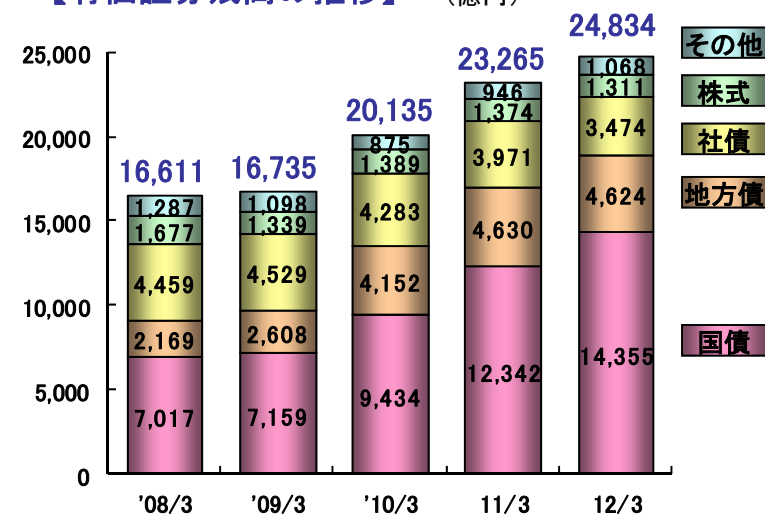
有価証券残高・評価損益

- 有価証券残高は国債を中心に増加
- 債券の評価益は増加

【有価証券残高】

〈ほくほくFG連結〉(億円)	12/3末	増減	11/3末
有価証券	24,834	+1,569	23,265
国債	14,355	+2,012	12,342
地方債	4,624	▲5	4,630
社債	3,474	▲497	3,971
株式	1,311	▲62	1,374
その他	1,068	+122	946

【有価証券残高の推移】 (億円)



【有価証券の評価損益】

〈ほくほくFG連結〉(億円)	取得原価			貸借対照表計上額			評価差額		
	12/3末	増減	11/3末	12/3末	増減	11/3末	12/3末	増減	11/3末
その他有価証券	24,311	+1,453	22,857	24,707	+1,676	23,031	395	+222	173
株式	982	▲93	1,076	1,009	▲61	1,071	27	+31	▲4
債券	21,389	+1,396	19,993	21,770	+1,571	20,199	381	+175	205
その他	1,939	+150	1,788	1,927	+166	1,760	▲12	+15	▲28

【変動利付国債の評価損益】 (億円)

〈参考〉評価損益	〈2行合算〉	〈北陸銀行〉	〈北海道銀行〉
理論価格	57	41	15
市場価格	33	41	▲8

【銀行勘定の金利リスク】 (億円)

	〈北陸銀行〉	〈北海道銀行〉
金利リスク量	13	51
アウトライヤー比率	0.41%	2.27%

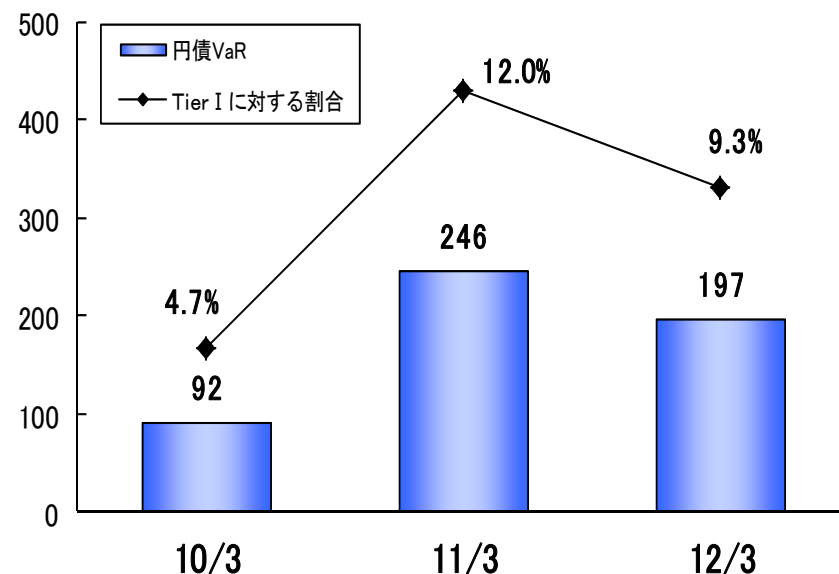
99パーセンタイル値

ポートフォリオ(円貨債券)

【円貨債券の残高、利回り、金利リスク】 ※ 内部管理ベース

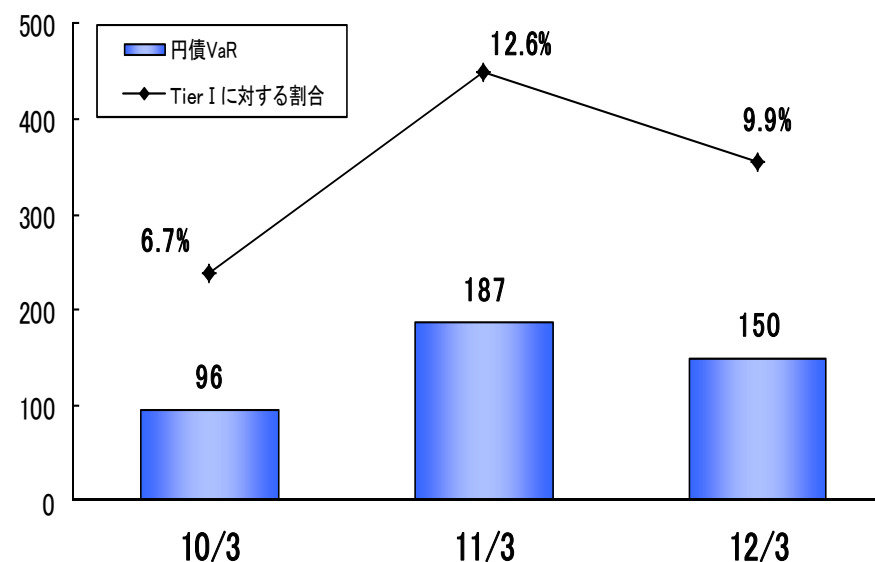
〈北陸銀行〉

(億円)



〈北海道銀行〉

(億円)

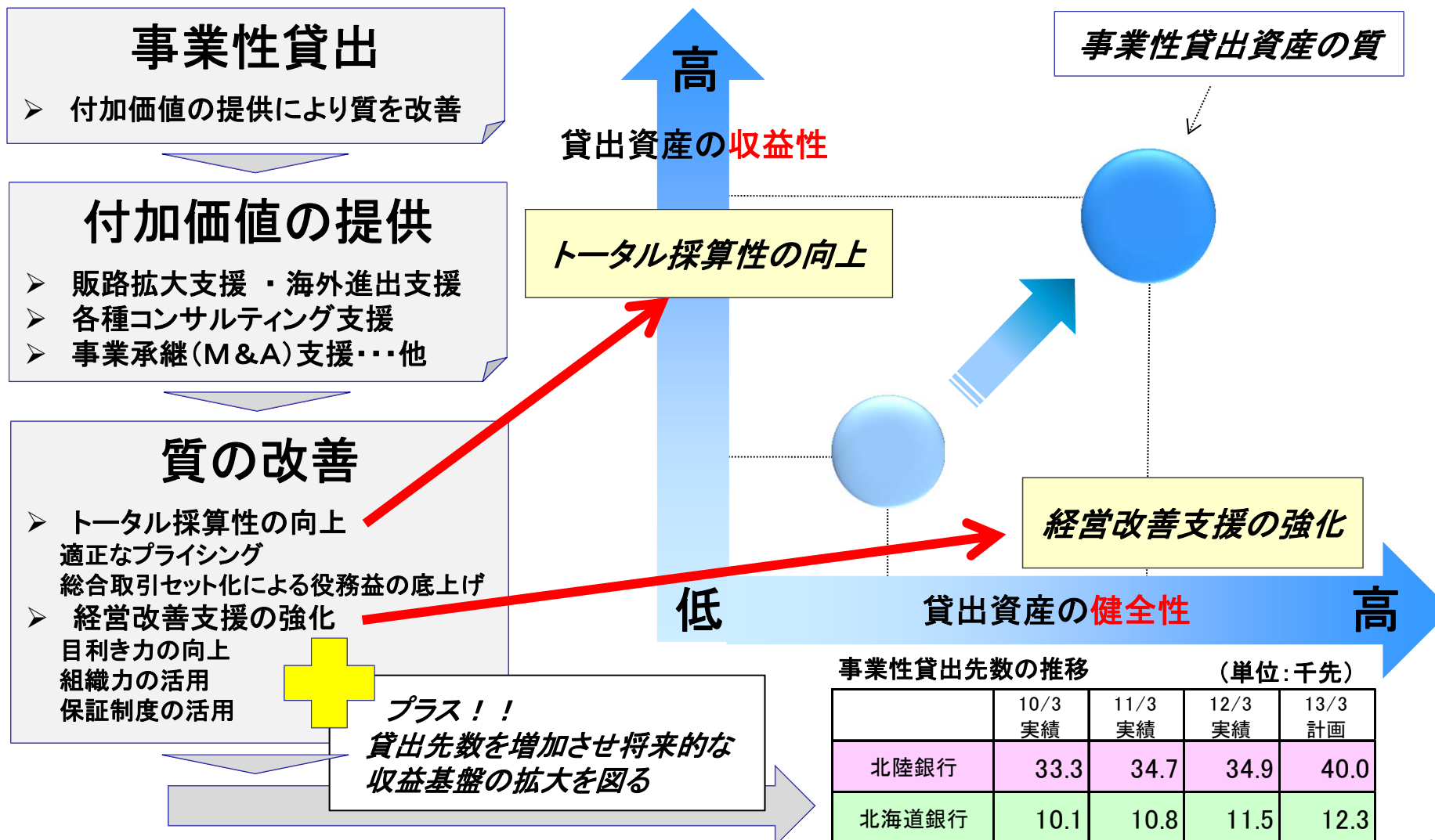


	11/3期	12/3期
北陸銀行		
残高(末残)	10,835億円	11,773億円
うち変動利付国債	2,216億円	2,261億円
期中平均利回り(%)	1.04%	1.04%
デュレーション(年)	4.24年	4.44年
VaR	246億円	197億円

	11/3期	12/3期
北海道銀行		
残高(末残)	10,033億円	10,605億円
うち変動利付国債	1,600億円	1,336億円
期中平均利回り(%)	0.85%	0.76%
デュレーション(年)	3.49年	3.90年
VaR	187億円	150億円

※VaR：11/9期より計測手法を分散共分散法からヒストリカル法に変更

- 事業性貸出は付加価値の提供により質の改善を図り、収益性、健全性の向上に取り組む
- 貸出先数の増加を図り、将来的な収益基盤の拡大を図る

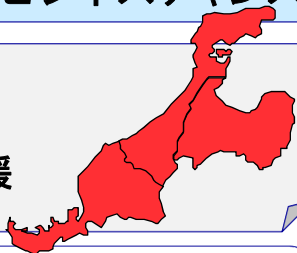


営業力の強化 ～ ビジネスマッチング

- グローバル化への対応、成長分野への取り組みにより新たな収益機会を創出
- 地域プロジェクトを活かしたビジネスチャンスの提供

グローバル化対応

- ✓ 地域企業の海外販路開拓を支援



海外ビジネスマッチングの取組み

国際金型展示会



2011.11 中国広東省

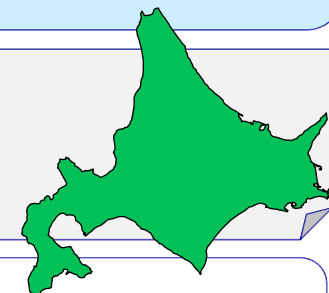
寧波商談会



2012.7 中国浙江省

成長分野(農業)

- ✓ もともと強い農業をさらに強く、持続可能なビジネスへ育成



アグリビジネス推進室の取組み

植物工場ビジネス



農業経営塾



地域プロジェクト

- 定期便就航
2012.3 (新千歳ー関西)ピーチ・アビエーション(LCC)就航
2012.4 (富山ー台湾)中華航空就航
2012.7 (新千歳ー関西)ジェットスター・ジャパン(LCC)就航予定
- 北陸新幹線開業(2014年度末)
- 北海道フード特区(2012.4 始動)
食糧供給基地として企業集積を図り、輸出拠点化を目指す

成長分野ビジネスマッチング 『とやま「食」の商談会』



2012.2 富山市

第3回北海道「観光」 特別商談会from中国



2012.6 札幌市

営業力の強化 ～ 海外ネットワーク

- 2012年3月、バンコク駐在員事務所開設、東南アジアでの事業拡大をサポート
- 2012年4月、ロシア極東(大陸)での活動を強化、ロシア沿海州への進出をサポート

バンコク駐在員事務所



- ✓ タイを中心に、ベトナム、カンボジア、ラオス、ミャンマー等に進出するお取引先の現地支援

東南アジアのカバーエリア拡大

富山県大連事務所
札幌市北京事務所

瀋陽

大連

バンコク

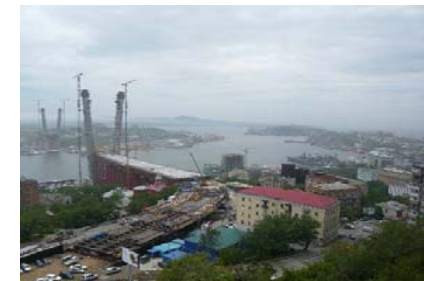
シンガポール

ユジノサハリンスク

上海

大陸へ進出

ロシア極東(大陸)



- ✓ ウラジオストク、ハバロフスクに職員1名を出張派遣
- ✓ 2012.5 ロシア金融最大手ズベルバンクと業務提携

提携先・会員組織

- 外国金融機関
中国銀行、タイ・カシコン銀行、ベトナム銀行、ガスプロム銀行、インドステイト銀行 …他
- 外国行政機関
大連市、瀋陽市、上海市、ベトナム政府、ハバロフスク市、サハリン州 …他
- 国内提携先
日本貿易保険、東京海上日動、オリックス …他
- 会員組織
ほくりく長城会、ほっかいどう長城会 …他

欧州・欧米



ロンドン

ニューヨーク

営業力の強化 ～ 海外進出支援

- サービスメニューを拡充し充実した国際化プログラムを提供
- 成長分野の海外展開を後押しビジネスチャンスを創出

サービスメニュー

- 現地法人への直接貸付 **NEW**
- 日本貿易保険(NEXI)取次
- 海外リース案件(ORIX)取次 **NEW**
- NACCS自動引落24時間対応 **NEW**
- 海外専用プリペイドカード取次 **NEW**

ニーズ発掘・囲い込み

- ✓ 海運貨物業者(乙仲)との帯同
- ✓ TV/Web会議の活用
- ✓ 貿易セミナー、商談会の企画
- ✓ 視察団の派遣
- ✓ 地域特性を活かした取組み

人材育成

- ✓ 海外研修の強化 ⇒ 増員、中長期化
- ✓ 海外派遣(JETRO)、語学留学(遼寧大学)
- ✓ 語学習得支援(受講料補助)

現地法人への直接貸付

- ✓ 国内営業店から直接取引先の海外現地法人(非居住者)に貸付



2011年11月 シンガポール向け米ドル建

2011年12月、2012年3月 中国向け米ドル建

2012年4月 タイ・バンコク向け米ドル建

2012年5月 中国向け人民元建

- ✓ 現地法人の資金調達を
日本国内からサポート

借入申込・保証 貸付・送金

日本
親企業



北陸銀行
国内営業店



海外
現地法人

インドネシア投資セミナー



海外販路開拓 チャレンジフォーラム2012



ロシア極東への進出支援

- モデル農場開設をサポート
地域の農業生産法人と共同でハバロフスク市郊外での寒冷地型モデル農場開設の調査を開始



- サハリン建設業協会と道銀ロシア極東寒冷地住宅関連研究会が協力協定
寒冷地住宅関連分野で関係強化
日ロ企業間のビジネスマッチングを強化し、地域企業の販路拡大に貢献

- 基盤取引、住宅ローン等の生涯取引を取り込み、継続的な収益基盤を確立
- 個人預金の安定的な積み上げを図り、金融商品はポートフォリオ見直し提案を実施

基盤取引の拡大

➤ 給振・年金

サービスプログラムの提供加え、キャッシュクレジットカード(Kitaca)をツールとした給振工作进行



年金は、退職者専用サービスの提供及び年金相談会の開催により早期囲い込みを図る



➤ 口座振替

Web口座振替受付サービス取扱開始

給振年金先数推移

(単位: 千先)

	10/3 実績	11/3 実績	12/3 実績	13/3 計画
北陸銀行	734.3	746.4	771.7	800
北海道銀行	864.4	873.1	922.7	950

住宅ローン

- 住宅ローン利用者向け会員制優待サービス



- 「マッピングシステム」を活用した借換工作进行
- 24年6月、両行とも引受緩和団信を導入予定

預かり資産

- 個人預金の安定的な積み上げ
ロングバリュー、ワンダフルワン、宝くじ定期預金
- 金融商品ポートフォリオ見直し提案の実施

本部、生保アドバイザーとの帯同
投信フォローアップチームの設置

- インターネットでの投信、外貨預金の取扱開始
- 融資先オーナーへの相続提案

MCIF

保険弊害防止処置規制の改正

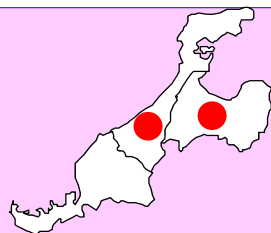
- **金融マーケティングモデルの共同開発**

平成25年を目処に、地銀複数行による高度な金融マーケティングモデルの共同開発を計画

営業力の強化 ～ 店舗戦略・人財育成

- 機能強化、空白地帯解消を目的とした店舗展開
- マネジメント力強化、幅広い人財育成、若年行員の早期戦力化

店舗展開



2012.2 移動相談車稼働

2011.11支店昇格



藤の木支店

2011.11支店昇格



泉野支店

2011.11支店昇格

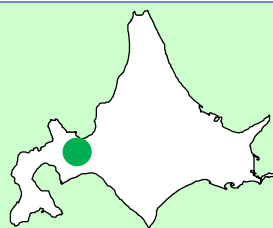


平岡パーク支店

2012.7統括店昇格



北栄支店



2013.8 OPEN



桑園支店

人財育成

部店長クラス

マネジメント力強化

- ✓ 「行内外研修」、「休日セミナー」の開催 … メンタルヘルスケア、他
- ✓ 初任支店長向け「チューター制度」の導入
- ✓ 「マネジメント自己診断」の実施

役席・中堅行員

幅広い人財育成

- ✓ 「各種トレーニー」の実施 ⇒ 海外、融資部、市場金融部、監査部、他
- ✓ 「民間企業研修出向」の実施 ⇒ 幅広い視野を業務に活用
- ✓ 「(出前型)勉強会」の実施 ⇒ 管理・回収、整理業務のスキルアップ
- ✓ 「中堅女性行員特別研修」の実施 ⇒ 主任、役席への登用

若年行員

早期戦力化

- ✓ 「育成プログラム」の実施 ⇒ 融資渉外力の強化
- ✓ 「一般職個人渉外」の育成 ⇒ 個人リテール推進強化
- ✓ 「経済セミナー」の実施 ⇒ 知識武装、経営者との話題づくり

部門・分野別の戦略的な人財活用

- ✓ 会計士・弁護士の定期採用(会計士16名(試験合格者含む)、弁護士3名)
- ✓ ベテラン層の登用継続、OB、OGの再雇用

経営の効率化 ～ 経費削減への取組

- 共同利用システム(MEJAR)を戦略的に活用し、FGシナジー効果を加速する
- コストの抑制を図り、戦略的分野への投資余力の捻出する

MEJAR



**FGシナジー効果
を加速**

- **サブシステムの共同化**
共同化拡大による利用料、開発費等の分散化
- **共同化サブWGの立ち上げ**
構想段階から情報を共有し、開発案件の共同化によるコスト削減
- **システム開発の迅速化**
犯罪対策、制度対応、多様化する商品開発への迅速な対応
- **機器、帳票類等の共同調達**
伝票、帳票類等の共同調達によるコスト削減
- **バックオフィスの集中化拡大**
ほくほく債権回収

2012.5

七十七銀行が共同利用システム(MEJAR)の新たな参加行として契約を締結

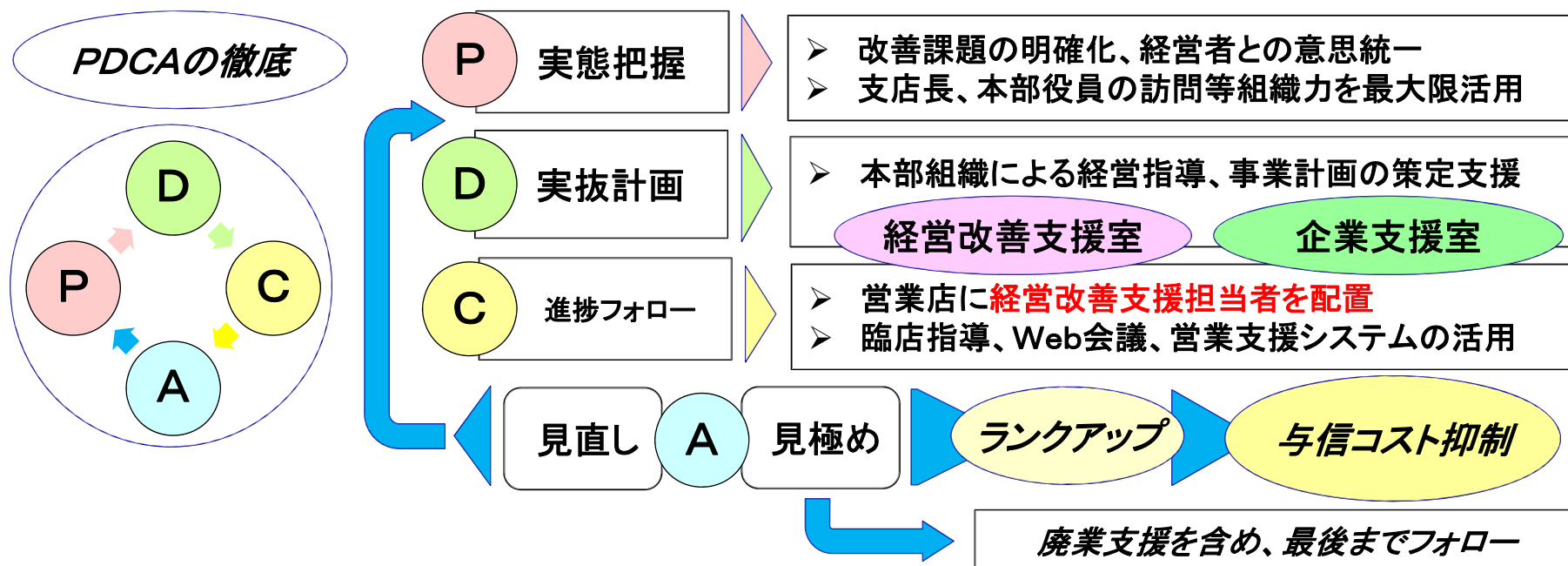
- **共同利用行の増加による利用料、開発コストの分散化**
北陸銀行、北海道銀行、横浜銀行、七十七銀行の4行合計で預金量27兆円の規模(12/3月末現在、除く譲渡性預金)、新たな参加行の増加に期待

経費削減の取組

- **CC運動の展開**
営業店よりコスト削減に係る提案を募集
- **経費管理WGを組成**
物件費を主体とした経費圧縮の取組みを強化

経営基盤の安定化 ～ 金融円滑化出口支援

- 組織力、コンサルティング機能の発揮により経営改善支援を強化
- 営業店が主体性を持ってPDCAサイクルを回し、廃業支援を含め、最後までフォロー



北陸銀行

経営改善支援の取組状況(平成23年度)

北海道銀行

経営改善支援の取組状況

期初債務者	16,740先	経営改善支援	
経営改善支援取組先	659先	取組み率	3.9%
再生計画策定先	632先	再生計画策定率	95.9%
ランクアップ先	46先	ランクアップ率	7.0%

※経営改善支援の先数には正常先を含んでおりません

経営改善支援の取組状況

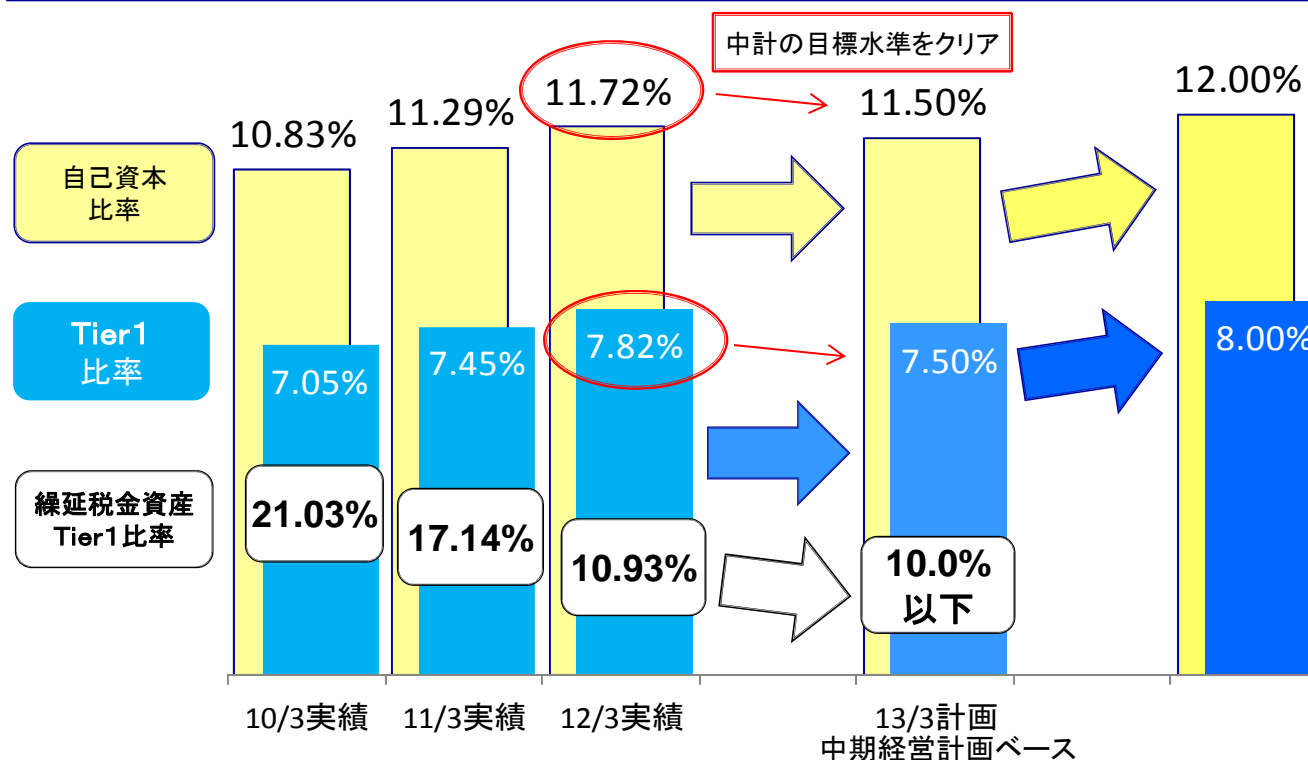
期初債務者	4,755先	経営改善支援	
経営改善支援取組先	302先	取組み率	6.4%
再生計画策定先	296先	再生計画策定率	98.0%
ランクアップ先	32先	ランクアップ率	10.6%

※経営改善支援の先数には正常先を含んでおりません

経営基盤の安定化 ～ 資本政策

- 12/3期現在、自己資本比率、Tier1比率は中期経営計画の目標水準をクリア
- バーゼル新規制等を踏まえ、さらなる自己資本の充実を図る
- 12/5 株主価値の向上を図るため、機動的に自己株式(上限40億円)の取得を開始

自己資本比率・Tier1比率 <FG連結>



基本方針

自己資本比率
12%を展望

Tier1比率
8%を展望

新規制を見据えながら
段階的な増配を検討

	10/3実績	11/3実績	12/3実績	13/3予想
普通株式配当金	3.5円	3.75円	3.75円	3.75円

「地域共栄」の経営理念のもと、地域の皆さまのニーズにお応えし、
皆さまと共に歩み、成長・発展することを目指します。



富山県と災害協定締結

移動相談車導入

創立60周年記念

北海道銀行コレクション



包括連携協力協定

富大、金大生を海外へ派遣



環境への取組

植樹活動

道銀フォレスト運動



ほくぎんマネジメント スクール

次世代経営者養成セミナー



学生交流を仲介

酪農大とロシア極東農大



環境への取組

太陽光パネル・LEDなど採用

金沢問屋町支店

地域のスポーツ支援

女子カーリングチームをサポート



本件に係る照会先

株式会社 ほくほくフィナンシャルグループ
企画グループ(担当:鈴木)

TEL:076-423-7331

FAX:076-423-9545

E-MAIL:honsa2@hokuhoku-fg.co.jp

<http://www.hokuhoku-fg.co.jp/>

事前に株式会社ほくほくフィナンシャルグループの許可を書面で得ることなく、本資料を転写・複製し、又は第三者に配布することを禁止いたします。本資料は、情報の提供のみを目的として作成されたものであり、特定の証券の売買を勧誘するものではありません。本資料に記載された事項の全部または一部は、予告なく修正・変更されることがあります。本資料には、将来の業績に関する記述が含まれておりますが、これらの記述は将来の業績を保証するものではなく、経営環境等の変化等により、実際の数値と異なる可能性があります。